

症例 3-1

46 歳女性、転移・再発乳癌（骨転移、肝転移、脳転移）

臨床検査値：BUN 12.3, Cre 0.34, AST 20, ALT 28, ALP 133, γ -GTP 54 \uparrow ,

WBC 6180, Hb 11.2, Plt 23.5,

CEA 6.8 \uparrow , CA15-3 6.3 血清 HER2 11.5

手術時の病理結果：ER 陰性 PgR 陰性、HER2(3+)

脳転移と思われる歩行障害や単純部分発作あり

A 病院 脳神経外科

Rp 1					
リンデロン錠 0.5mg	8C	1日2回	朝・昼食後		28日分
Rp 2					
ラミクタール錠 25mg	2T	1日2回	朝・夕食後		14日分
Rp 3					
ラミクタール錠 25mg	3T	1日2回	朝・夕食後		14日分
			朝1錠、夕2錠		
			Rp2 が終わった後から服用開始		
Rp 4					
セレニカ R 顆粒 40%	2.5g	1日1回	朝食後		28日分

B 病院（ゲムシタピンからの変更）

Rp 1					
タイケルブ錠 250mg	5T	1日1回	朝食後2時間 10時30分頃		7日分
Rp 2					
ロペミンカプセル 1mg	1C	屯用	下痢時		10日分
Rp 3					
ヒルドイドソフト	1本	1日数回	塗布		

1. タイケルブ服用中に出現する副作用とその対応は何か
2. 今回の処方薬で処方監査する際の注意点および疑義照会すべき点はあるか?

症例 3-2

37 歳女性、転移・再発乳癌（鎖骨上リンパ節転移、脳転移）

臨床検査値：BUN 14.0, Cre 0.66, AST 19, ALT 9, ALP 245, γ -GTP 16,

WBC 3960, Hb 14.8, Plt 24.0,

CEA 15.8 \uparrow , CA15-3 17.6 血清 HER2 16.6 \uparrow

手術時の病理結果：ER 陽性 PgR 陽性、HER2(3+)

A 病院（フェマラーラからの変更）

Rp 1					
リピトール錠 5mg	1T	1 日 1 回	朝食後		7 日分
Rp 2					
ゼローダ錠 300mg	8T	1 日 2 回	朝・夕食後		7 日分
Rp 3					
セレコックス錠 100mg	2T	1 日 2 回	朝・夕食後		7 日分
Rp 4					
ヒルドイドソフト	1 本	1 日数回	塗布		

1. ゼローダ服用中に出現する副作用とその対応は何か
2. 今回の処方薬で処方監査する際の注意点および疑義照会すべき点はあるか?

症例 3-3

62 歳女性、転移・再発乳癌（肺転移）

臨床検査値：BUN 9.9, Cre 0.41, AST 44 ↑, ALT 28, ALP 266, γ -GTP 71 ↑,

WBC 4200, Hb 22.8, Plt 23.0,

CEA 438.5 ↑, CA15-3 34.7 ↑ 血清 HER2 193.0 ↑

手術時の病理結果：ER 陽性、PgR 陰性、HER2 (3+)

A 病院（アドリアマイシン治療開始後 8 日目）

Rp 1					
ヒスロン H 錠 200mg	2T	1 日 2 回	朝・夕食後	7 日分	
Rp 2					
セレコックス錠 100mg	2T	1 日 2 回	朝・夕食後	7 日分	
Rp 3					
プルゼニド錠 12mg	1T	1 日 1 回	寝る前	7 日分	
Rp 4					
オキシコンチン錠 5mg	2T	1 日 2 回	12 時間おき 朝 8 時、夜 8 時	7 日分	

1. 各薬剤の処方意図は何か
2. 今回の処方薬で処方監査する際の注意点および疑義照会すべき点はあるか?

参考図書・参考資料

- 乳癌診療ガイドライン 1. 薬物療法 2010 年版
編集：日本乳癌学会
出版：金原出版
- 乳癌診療ガイドライン 1. 治療編 2011 年版
編集：日本乳癌学会
出版：金原出版
- 患者さんのための乳がん診療ガイドライン 2009 年版
編集：日本乳癌学会
出版：金原出版
- がん診療レジデントマニュアル 第 5 版
編集：国立がん研究センター内科レジデント
出版：医学書院